

普及センター

もりおか7月

インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第177号平成29年6月21日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

農薬の適正使用 気を引き締めて！

【管内で残留農薬基準超過事案発生】

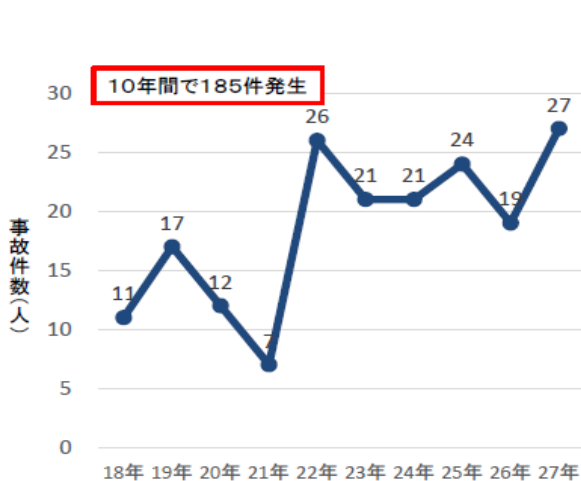
- J A 新いわての残留農薬自主検査(6/上)において、南部営農経済センターが出荷したほうれんそうで基準を超える農薬成分が検出されました。

農薬名：スミチオン
検出値：1.4ppm
基準値：0.2ppm

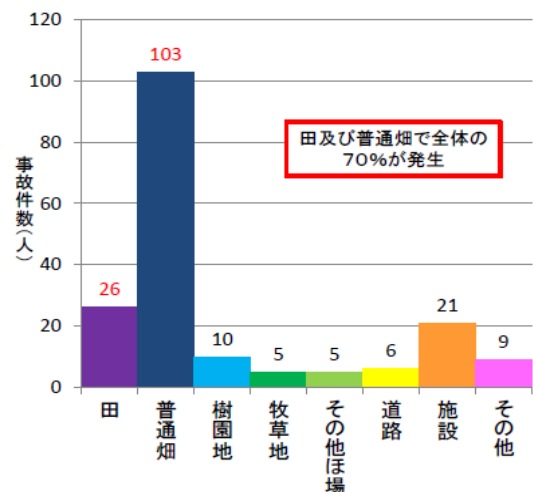
- 原因は、使用基準違反（散布後、規定の日数が経過していない作物を収穫・出荷したこと）によるものです。
- 農薬を使用する際には、その都度、必ずラベル等を見て、使用基準（作物名・希釈倍数・使用時期・使用回数）を確認し、ミスを防ぎましょう！

農作業時の熱中症に注意しましょう！

農作業中の熱中症による死亡事故件数の推移



農作業中の熱中症による死亡事故件数、場所別（平成18～27年）



- 農作業中の熱中症は増加傾向にあり、7～8月、高齢者に多く発生しています。
- 発生の予防と可能性が疑われる場合の処置の仕方を覚えておきましょう。

夏の農作業で気をつけること

1 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- 草刈りなど長時間の屋外作業を行う際は、十分に注意しましょう
- 高齢者は、若者に比べると暑さやのどの渇きを感じにくくなっていますので、特に70歳以上の方は、高温時の作業を極力避けるようにしましょう

2 こまめな休憩、水分補給を行いましょう

- のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯の水を補給しましょう

3 熱中症予防グッズを活用しましょう

屋外：帽子、吸汗速乾性素材の衣服やファン付きの作業着

屋内：送風機、スポットクーラーの利用

4 単独作業を避けましょう

5 高温多湿の環境を避けましょう

- 作業場所に日よけを設けるなど、できるだけ日陰で作業しましょう
- ハウスでは、風通しを良くするなどして温度、湿度の上昇を抑えましょう

熱中症が疑われる場合の処置

1 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

- 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性あります

めまい、吐き気がする

手足がしびれる、冷たい

スキンスキンとする頭痛がある



体が熱い

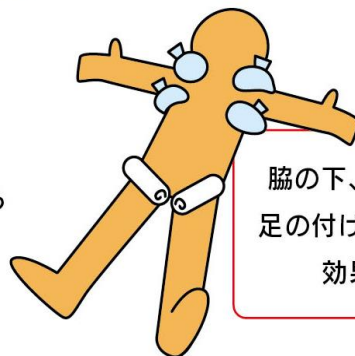
意識の障害がある

まっすぐに歩けない

体がだるい

2 応急処置を行いましょう

- 涼しい環境へ避難しましょう
- 服をゆるめて風通しをよくしましょう
- 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう
- 水分・塩分を補給しましょう



脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です

3 病院で手当を受けましょう

- 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくなる場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい